

健康栄養学科

①教員養成の目的

食はヒトが生きていく上での基本的な営みの一つであり、生涯にわたり健康的な生活を送るためには健全な食生活は欠かせません。そのためには子どものころから健全な食習慣や自己管理能力を身に付けることが望まれます。しかし、近年の子どもの食を取り巻く環境は変化し厳しさを増しています。子どもたちが生涯にわたって健康的な生活を送ることが出来る力を身につけさせることは、社会的に急務といえます。

本学科では、長年にわたり食の専門職である栄養士・管理栄養士の養成を行ってきました。この経験をもとに、食に関する知識を基として、未来を担う子どもたちに一生を通じて健やかに暮らすことのできる力を身につけさせるために必要な応用技術と、豊かな人間性を持つ教育者の養成を目指しています。

②目標達成のための教育計画

健康栄養学科では、まず食の専門職である栄養士・管理栄養士の資格修得が基礎になります。あわせて教員としての資質の向上に取り組むカリキュラムを設置しています。

1年次では教員としての基礎力、すなわち人間性の涵養のための教養科目と教育の基礎理論を学びます。2・3年次では、栄養に関する専門科目や栄養教諭の使命・役割を学び、栄養教諭に必要な知識・指導方法を習得します。4年次には、小学校又は中学校において教育実習を行います。

また、食育サポートセンターやあすなろうセンターでのボランティア活動を積極的に経験することで、建学理念である「あすなろう精神」の向上に努めるとともに実践的指導力の育成に努めています。

2年次以降は栄養教諭希望者を栄養教育コースに配属し、担当教員を配置して随時面談を行い、履修やその他様々な相談に応じるなど、きめ細かな指導を行っています。